



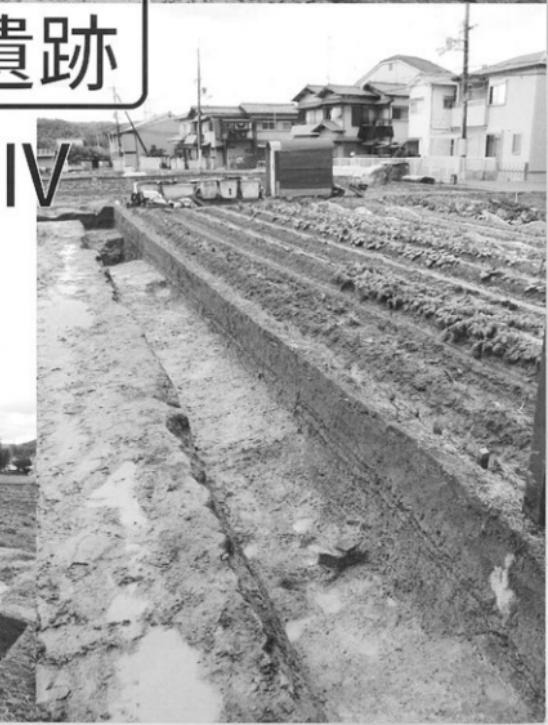
喜志 遺跡

富田林市文化財調査報告 54

富田林市教育委員会

2014

薬局の建設に伴う発掘調査報告 (KS2013-1)



1.はじめに

市域北端部の喜志町、木戸山町および羽曳野市東阪田に広がる喜志遺跡は、弥生時代から中世にかけての集落跡として周知されている。サヌカイトを産出する二上山から東へ約5kmに位置しており、弥生時代にはそれを用いた石器の製作が盛んに行われていた。

遺跡範囲の北端（ただし、図示はしていないが、北側には東阪田遺跡が接して存在する）に近い喜志町四丁目地内において、薬局の建設計画が持ち上がり、文化財保護法第93条に基づく発掘届出書が提出された。調査地の現況は畑で、現況面は道路より低くなってしまっており、道路面と同じ高さまで盛土を施す造成工事が行われる計画であった。建物基礎底は盛土内に取まるが、造成に伴って設置される擁壁が遺跡を損壊する恐れがあり、2013年12月10日に擁壁設置範囲で事前調査を行った。その結果、遺構を確認し、当該範囲の遺跡保護が難しいとの結論に至ったため、約28mを本調査の対象とした。

本調査は富田林市教育委員会文化財課 角南辰馬が担当し、調査補助員として土山賀代と板坂信治が参加した。調査期間は2014年1月6日から同月10日で、実働日数は4日であった。なお、本書の執筆と編集は角南が担当した。

2.調査成果

調査区は、設置される擁壁に従いL字形のトレントチとなった。長さは東西方向20m、重複部分を除く南北方向8mで、幅は1mである。

基本層序は、耕作土、床土、旧耕作土、旧床土、地山であり、遺構検出は地山面で行った。地山は調査区東端より西へ約3mまでが明黄褐色粘質土（10YR6/6）で、それより西側は橙色砂礫（7.5YR6/8）であった。調査地は西側の羽曳野丘陵から派生した中位段丘上に位置しているが、西側に北から南へ入り込む谷が存在するため、地山面は緩やかに西側へ下降している。現況面から地山面までの深さは、トレントチ西端で54cm、東端で40cmである。遺構は東西方向のみで確認し、溝1条、落ち込み1基、土坑1基で、すべてその一部がトレントチにかかったにすぎない。

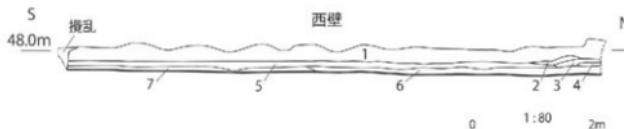
溝（F1）は幅2.4m、深さ40cmで、南北にのびると考えられる。埋土はにぶい黄褐色粘質土の1層である。溝のほぼ中央の底面から15cmほど浮いた位置を中心にして、弥生土器片が約40点出土している。ほとんどが小片で全体の形状が分かることはできないが、外面にタタキを施し、胎土に生駒西麓産の特徴がみられる甕の体部片がある。このほか、サヌカイトの剥片1点が出土している。



図1 調査位置図 ($S = 1/2,000$)

X=-163070
Y=-35835

X=-163060
Y=-35835



1. 耕作土
2. 旧耕作土
3. 床土
4. 旧耕作土
5. 床土
6. 旧耕作土
7. 旧耕作土
8. 10YR 6/3 に ふい黄橙色砂質土 (7.5YR 5/6 明褐色粘性砂質土がまじる)【F2 埋土】
9. 10YR5/3 に ふい黄褐色粘質土 (小礫を多く含む) F3 埋土】
10. 10YR4/3 に ふい黄褐色粘質土 【F1 埋土】

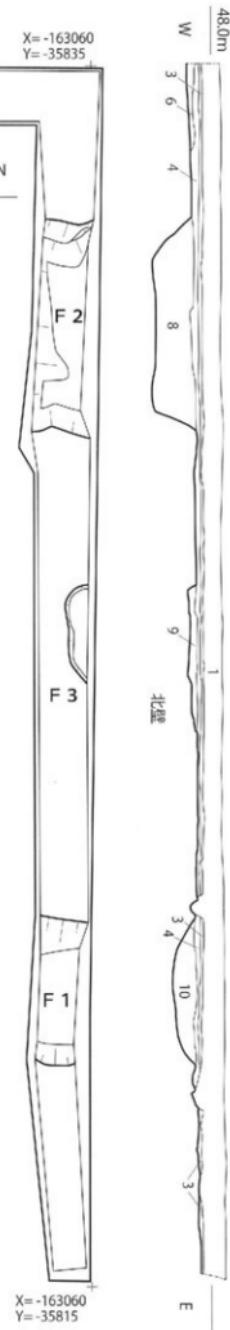
図2 トレンチ平面・断面図 (S = 1/80)

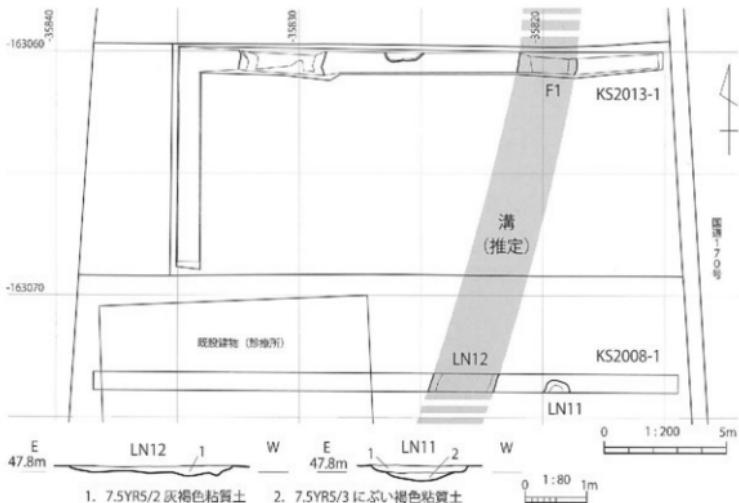


写真1 F2 (北西から)



写真2 F1 (南から)





落ち込み（F 2）は東西幅2.4m、深さ15cmで、遺物は出土しなかった。土坑（F 3）は東西幅3.5m、深さ70cmで、トレンチ南壁に遺構の立ち上がりの一部がかかっている。埋土は1層で、焼締陶器の底部片1点が出土した。

3. 遺跡北端部の様相

今回確認した溝と同一とみられる遺構は、南側の隣接地の調査（KS2008-1、同課 中辻 宜が担当）でも確認している（LN12）。幅2.7m、深さ15cm

で、トレンチに対してやや斜交し、遺物は出土していないが、東側の径1.6m、深さ25cmの土坑（LN11）からは、土師器片が少量出土している。

喜志遺跡の北端部は面的な調査が少なく、今後の積み重ねが必要であるが、居住・生産域として推定されている調査地南側に比べると遺構の密度が低いことは確かであり、集落の縁辺部であることを示唆しているのかもしれない。

最後になりましたが、調査にご協力いただいた事業者および関係者の方々に、感謝の意を表します。

報告書抄録

ふりがな 書名	きしいせき よん 喜志遺跡 IV						
著者名	薬局の建設に伴う発掘調査報告書（KS2013-1）						
シリーズ名	富田林市文化財調査報告						
シリーズ番号	64						
編著者名	角南辰馬						
編集機関	富田林市教育委員会						
所在地	〒684-8511 大阪府富田林市常盤町1番1号 TEL 0721-25-1000㈹						
発行年月日	2014(平成26)年3月31日						
所取遺跡名	所取遺跡名	コード	北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
きしいせき 喜志遺跡	富田林市喜志町四丁目	27214	34°31'46"	135°36'35"	2014.1.6 ~ 2014.1.10	28	薬局の建設
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
喜志遺跡	集落	弥生時代	溝	弥生土器、サヌカイト剝片			